

留 学 報 告 書

記入日: 2015 年 8 月 26 日



所属学部／研究科・学科／専攻	文学部文学科フランス文学専攻
留学先国	フランス
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: ベルサイユ大学 現地言語: Université de Versailles Saint-Quentin-en-Yvelines
留学期間	2014 年 9 月～2015 年 5 月
留学した時の学年	3 年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3 年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2015 年 5 月 21 日
明治大学卒業予定年	2016 年 3 月
留 学 先 大 学 に つ い て	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1 学期: 9 月中旬～12 月下旬 2 学期: 2 月上旬～5 月上旬
学生数	約 20,000 人
創立年	1991 年

留学費用項目	現地通貨 (ユーロ)	円	備考
授業料	0	0 円	
宿舍費	約 2,700 ユーロ	約 370,000 円	
食費	約 4,000 ユーロ	約 560,000 円	
図書費	約 30 ユーロ	約 5,200 円	
学用品費	約 30 ユーロ	約 5,200 円	
教養娯楽費	約 100 ユーロ	約 14,000 円	
被服費	約 300 ユーロ	約 52,000 円	
医療費	0	0 円	
保険費		93,000 円	形態: 留学生用海外旅行保険
渡航旅費		220,000 円	
雑費	約 150 ユーロ	約 200,000 円	
合計		約 1,500,000 円	

渡航関連

渡航経路: 成田空港ーパリ・シャルルドゴール空港

渡航費用

チケットの種類 FIX OPEN

往路 _____

復路 _____

合計 220,000 円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

HIS 新宿東口店で予約・購入

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

大学付属の寮

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数 1)

3)住居を探した方法:

大学からの紹介

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

特に問題点はなく過ごせた。部屋の設備は特に不便はない。ただ同居人に関しては実際に現地へ行く、もしくは同居人が来るまではどこの人なのか、どんな人なのかということが全くわからないので、不安な方は個人用の住居もあるのでそちらの方がいいかもしれない。

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった

利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

留学生用の窓口があったため、何かわからないことがあった際はそちらに聞いていた。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

インターネットや周囲の人々からの話で情報を収集していた。犯罪に巻き込まれたことは特になかった。ただ留学中にパリでテロが起こった時は、パリへ出かけることは少し控えた。危険な場所へは近寄らないことが重要だと思う。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮に WiFi はあるが、割と不安定である。さらにフィルターがかかっているために見られないサイトなども多く存在するため、快適とは言い難い。大学の図書館がすぐ近くにあるため、時間がある時にはそこでインターネットを利用していた。携帯電話は現地でプリペイド式のものを買った。約 20 ユーロ(約 3000 円程度)と安価なため、これで十分だと思う。

5)現地での資金調達はどうに行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

寮に入る際に銀行口座が必要なため、現地到着後にすぐ作った。LCL という銀行と大学が提携していたため、手続きは割とスムーズに進んだ。資金調達にはシティバンクの口座を利用した。日本のシティバンクで口座を開いて口座に円を入れておくと、現地で ATM からユーロで引き出せるのでとても便利だった。日常の支払いには銀行からもらえるクレジットカードで払うことが大半なので、ATM でお金を引き出して、そのお金を現地の口座に入れるというのが基本だった。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

プラスチック製の容器や使い捨ての食器などはあると便利かもしれない。フランスではあまり使い捨てのものがなく、到着後すぐなどはものを買って揃える時間もあまりないので、非常に役立つと思う。

進路について

1) 進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
マイナビなどの就職総合サイト
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
未定
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)
今年度から就活の時期が遅くなったため、留学をする人々には今まで以上に有利になったと思う。エントリーや web テスト、エントリーシートの送付は現地からも可能なためそこまで問題ない。実際の専攻は経団連加盟企業であれば 8 月頃から始まるため帰国後で十分に間に合う。といっても中小企業などは例年通りの時期に内定を出したりするところも多く、帰国してみると既に内定をもらっている友人も多いが、その友人たちもやはりまだ就職活動を続け、8 月頃からの大企業の選考を受ける人が多い。中小企業も 9 月頃から二次募集をかけるところが例年よりも増えるかと思うので、焦らずに自分の行きたい企業を見つけることができればそこまで問題はないのではと思う。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
18 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
culture et humanité	文化人類学
科目設置学部・研究科	国際文化学部文学科
履修期間	前・後期
単位数	3.0
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式
授業時間数	1週間に 120 分が 1 回
担当教授	Jean Civardi
授業内容	ギリシャ神話やギリシャの劇場の構造などを読み解く
試験・課題など	期末に筆記試験
感想を自由記入	もともと神話などに興味があったので取りました。しかし内容は非常に難しかったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Arts, cultures, patrimoines	芸術、文化、遺産
科目設置学部・研究科	国際文化学部文学科
履修期間	前期
単位数	3.0
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式
授業時間数	1週間に90分が1回
担当教授	Jean-Charles Geslot, Serge Linarès, Thomas Widemann, Alessia Zambon
授業内容	ヨーロッパ諸国、主にフランスの芸術遺産等を学ぶ授業。4人の講師が順番にそれぞれの専門分野を教える。
試験・課題など	期末に筆記試験
感想を自由記入	日本では知られていなくてもヨーロッパでは有名、というような作品が多々あり、面白かったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Histoire littéraire française 2 (XIX-XXIème siècle)	19世紀から20世紀のフランス文学史
科目設置学部・研究科	国際文化学部文学科
履修期間	後期
単位数	3.0
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	Corinne François-Denève, Serge Linarès
授業内容	19世紀から20世紀のフランス文学史を学ぶ
試験・課題など	期末に筆記試験
感想を自由記入	文学界における名作や事件などを知ることができ、面白かったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
langue en situation	日常会話
科目設置学部・研究科	留学生用授業
履修期間	前・後期
単位数	6.0
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式
授業時間数	1週間に120分が2回
担当教授	Dianat Solmaz
授業内容	会話がメインの留学生用のフランス語の授業
試験・課題など	期末に筆記試験、その他時々小テスト
感想を自由記入	基本的にはノートも使わず話しながら進むので面白かったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
vie pratique et culturelle	文化的な生活
科目設置学部・研究科	留学生用
履修期間	前・後期
単位数	3.0
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	Bazin Laurent
授業内容	文法がメインの留学生用のフランス語の授業
試験・課題など	期末に筆記試験
感想を自由記入	日本ですでにやったこともありましたが、面白かったです。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等（形式は箇条書きなど簡単なもので構いません）

2013年 1月～3月	語学の勉強 留学に向けての情報収集
4月～7月	語学勉強 出願準備
8月～9月	語学勉強 出願
10月～12月	語学勉強 留学選考の面接
2014年 1月～3月	TCF の勉強、受験
4月～7月	VISA の申請 航空券の購入
8月～9月	出発準備、出発 現地到着後、前期授業開始
10月～12月	前期授業
2015年 1月～3月	前期試験 後期授業開始 3月から就職活動
4月～7月	後期授業、試験 帰国後、本格的に就職活動開始
8月～9月	就職活動
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	一番の理由は語学力をさらに上げたかったことです。大学でもフランス語を学んでいましたが、自分ではあまり話せるようになっていないとは感じられませんでした。普通の授業で学ぶことは、どうしても文法や単語のことが多いです。それももちろん非常に重要なことなのですが、それだけを学んでいても会話をするにはできないのではないかと考えました。そこで実際に現地へ留学をすることで、フランス語というものをより日常のものにし、実際に会話ができるようになりたいと考え、留学を決意しました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	まず一番大事なことは、留学前からある程度は勉強して、会話ができるようになっておくことです。私は留学前にはあまり話せないような状態で行ったのですが、会話ができないと必要な手続きなどもスムーズにいきません。周囲には日本人はほとんど存在しないので、友人ができる前は一人でやる必要があります。他国からの留学生は来た時点で既に話せるという人が多いので、会話に入ることもままなりません。もう一つは日本のことをより深く理解していくことです。多くの人は日本に来たことがないので、日本がどんな国なのかということに非常に興味を抱きます。おそらく初めて会う人にはほぼ確実に聞かれることだと思うので、知ってから行く方が無難です。
この留学先を選んだ理由	国際文化学部という学部があり、その学部の授業に興味があったので決めました。さらに入学後にはどの学部の授業でも履修できるので、自分のペースで好きな授業を取れるというのも魅力的でした。さらにヴェルサイユ大学の学生のうち、留学生が占める割合が他の大学と比べても高いことも魅力の一つでした。もちろんフランス人学生と交流することも目標の一つでしたが、それだけではなく他のヨーロッパ諸国やアジア・中東など、多くの国々の人々とも交流したいと考えていて、それを実現することができると考えたからです。
大学・学生の雰囲気	他の大学と比べると非常に大きなキャンパスです。しかも校舎が大きいのではなく、公園のようなキャンパスになっていて、芝生が広がっていたり噴水があったりと、付近の住民も多く訪れる場所になっています。空き時間などは友人と一緒に外の芝生でご飯を食べたり日向ぼっこをしたりもできますし、学生だけではなく近隣の住民とも話したりすることも多くありました。さらに大学自体が新しいということもあり、非常に綺麗なキャンパスです。留学生が多い大学なので、学生たちもアジア人を見ると積極的に話しかけてくれます。
寮の雰囲気	寮では留学生たちが多く住んでいるので、非常に楽しいです。私はモロッコ人男性と二人で住んでいたのですが、二人で出かけることもありました。しかしそれだけではなく、隣の住人や上の階の住人など、非常に多くの人々と交流がありました。みんなでご飯を食べたり、パリまで出かけたりもしました。夜にはほぼ毎日のようにパーティーもあります。パーティーにはそれぞれの友人を呼んできたりもするので、非常にたくさんの人々と交流することができてとても楽しいです。普段の生活の中でも授業でわからないことがあったらお互いに相談したり、困ったことがあったら助けてもらったりと非常に良い経験でした。
交友関係	上でも述べたように、私は留学当初はフランス語はおろか英語もあまり喋れないので、コミュニケーションに関しては非常に苦労しました。手続きもうまくできないので、誰かとコミュニケーションをとって仲良くなるなど、とてもできるような状況ではありませんでした。隣の部屋の住人とはフランス語の授業も一緒ということもあり、仲良くなりました。その人にパーティーに誘われたりした時には積極的に参加しました。会話はうまくできませんが、喋れずとも自然と仲良くなれて楽しいものです。そのような中で少しずつ喋れるようになり、さらに仲良くなることもできました。
困ったこと、大変だったこと	いろいろな手続きがあり、非常に大変でした。というのも、フランスの場合は日本と違い、スムーズに進むということがほとんどありません。住宅補助(CAF)を申請する際にはサイトに書いてある必要書類を郵送するのですが、どれだけ待っても返事が来なかったり、「念のためこの書類も追加で送ってくれ」と言われたりして、結局帰国日が近づくまで手続きが終わらないこともありました。銀行の口座を解約する時にも、「口座に残っている日本の口座に1週間ほどで送金する」と言われたので日本の口座情報を教えたのですが、約1ヶ月経っても入金されないなどもあります。
学習内容・勉強について	私は主にフランス語、フランス文学の授業を取っていました。フランス語もうまくできない私にとっては、どの授業も理解することに一苦労していました。そのためボイスレコーダーを持参して授業を録音しておいて、家に帰ってからもう一度聞くなどして理解できるように努めました。空き時間に図書館などで勉強をすることも多かったです。基本的には留学生用の特別措置、というようなものはあまりないので、フランス語のできるできないに関わらず、周りのフランス人学生と同じ授業を同じペースで進みます。正直言って非常に難しく、大変でした。

課題・試験について	普段は課題はあまり多く出ませんでした。しかし、多くの場合は授業の終わりに「来週はこんな授業をします」と言われるので、それについての予習は必要かと思います。フランス人学生はあまりやっていませんでしたが、授業の理解を深めるには必要かと思います。ただ後期の終わり頃になるとどの授業でもプレゼンの課題が出たりして、その時期は準備や練習などで非常に忙しかったのを覚えています。私のとっていた授業では個人でのプレゼンばかりだったので、発表内容や方法も自分一人でやっていました。しかしどの授業も自分の興味のある分野のことなので、それほど苦痛だとは思いませんでした。
大学外の活動について	留学生とフランス人学生の交流を目的とする学生団体がありました。基本的にフランス人学生で構成された団体です。その団体が中心となって色々な企画を行っていました。ヴェルサイユ大学には寮がいくつかあり、その住んでいる学生は留学生がほとんどなので、その企画にも多くの留学生が参加していました。多くの場合は近くのバーでパーティーを行うことが多いですが、バカンスや週末にはパリをみんなで回ったり、ディズニールランドへ行くこともあり、非常に楽しかったです。またそのような集まりでは普段は会わないような人とも関わるできるので、それも良いと感じました。
留学を志す人へ	終えてみると非常に良い経験でしたが、留学中はもちろん楽しいことばかりではありません。辛いことや大変なこともあります。しかし留学は誰かに行かされているものではなく、自分で希望して選考に参加し、周囲の支えによって行かせてもらっているものです。自分で決めたものなのだから、最後までやり通す義務と責任があります。仮に失敗しても後になれば笑い話になるものや、やってみたら意外といいものだったということも多々あります。最後まで全力でやり抜くこと、何か興味のあるものがあつたらとてあえずやってみることが、留学を通して今後の人生を良い方向へ導く上でとても大事になってくることだと思います。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中							
	授業	自習	自習	授業	授業	友人と遊ぶ	友人と遊ぶ
午後	授業	授業	授業	自習	自習	友人と遊ぶ	友人と遊ぶ
	休憩			授業	友人と遊ぶ	友人と遊ぶ	友人と遊ぶ
夕刻					友人と遊ぶ	友人と遊ぶ	友人と遊ぶ
夜	パーティー	パーティー	パーティー		パーティー	自習	パーティー

.0